

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
証券コード	4318
株式公開日	2001年10月23日
事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
1単元の株式の数	100株
発行済株式の総数	19,098,576株(2014年9月30日現在)
公告の方法	電子公告による 公告掲載URL http://919.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による 公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主優待制度の変更につきまして

当社株式への投資魅力をさらに高め、より多くの株主の皆様当社株式を長期的に保有していただけますよう、この度、株主優待制度の見直しを行いました。

【変更後】平成27年3月期以降の優待内容

保有株式数	優待内容
100株以上500株未満	クオカード 500円分
500株以上1,000株未満	クオカード 1,000円分
1,000株以上5,000株未満	クオカード 2,000円分
5,000株以上	クオカード 2,000円分 浅原千代治監修 オリジナルガラス工芸品

【ご参考／変更前】平成26年3月期までの優待内容

保有株式数	優待内容
1,000株以上	浅原千代治監修 オリジナルガラス工芸品

グループ各社 コーポレートサイト

- 株式会社クイック
⇒ <http://919.jp/>
- 株式会社アイ・キュー
⇒ <http://www.iqiq.co.jp/>
- 株式会社カラフルカンパニー
⇒ <http://www.colorfulcompany.co.jp/>
- 株式会社キャリアシステム
⇒ <http://www.career-system.net/>
- QUICK USA, INC.
⇒ <http://www.919usa.com/>
- 上海クイックマイツ有限公司
⇒ <http://www.919myts.com.cn/>
- QUICK VIETNAM CO., LTD.
⇒ <http://919vn.com/>

本誌記載記事に関するお問い合わせ

株式会社 **クイック** 経営戦略室(IR担当)
〒530-0018 大阪市北区小松原町2番4号
TEL 06-6366-0919
E-mail info-kabu@919.jp

株主様アンケート結果更新のご報告



2013年度(第34期)株主通信に同封の「株主様アンケート」におきましては、数多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。
皆様から頂戴しましたご意見の一部を、コーポレートサイト内の、以下のページにて掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

第34期(2014年3月期)株主様アンケート結果
<http://919.jp/ir/enquete/>

Human Resources Solution
人・未来・・・
株式会社 **クイック**

クイック グループ

2014

年度

株主通信

第35期 第2四半期
(2014年4月1日～9月30日)



株主の皆様へ

上半期は、堅調な求人マーケットを背景に、業績が順調に拡大いたしました。また、東京証券取引所市場第一部銘柄にも指定され、実りの多い半年間となりました。

晩秋の候、株主の皆様には平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、第35期第2四半期(2014年4月1日から9月30日まで)の株主通信をお届けし、決算の概要についてご報告いたします。

上半期の国内景気は、当初、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動や実質所得の低下により、落ち込みが見られました。第2四半期に入り、景気は持ち直し始めたものの、天候不順や輸出の停滞等の影響から、回復ピッチは想定よりも緩やかなものとなりました。

一方、国内の雇用情勢は、消費税引き上げ後の景気悪化が一時的との見方から、企業の採用マインドは衰えず、建築・土木分野や医療分野等の専門職・技術職への採用ニーズも引き続き高い水準で推移しました。こうした状況が、人材・情報サービスを提供する当社グループにとっては追い風となり、中でも、人材サービス事業が全体の業績を牽引しました。

この結果、上半期は、売上高・利益ともに過去最高の業績となる等、当初の計画を大きく上回り、業績予想の上方修正を行いました。これにより、通期業績における5期連続の増収増益、前年度に続く過去最高益更新の実現に向け、良い形で下半期のスタートを迎えることができました。

また、本年9月24日には、当社株式が東京証券取引所市場第一部銘柄に指定され、これに伴う東証一部指定記念配当の実施、さらには業績予想の上方修正を受けての期末配当予想の修正等、株主の皆様へは嬉しいご報告を数多くお届けすることができました。

下半期につきましては、雇用環境の改善は続くものの、そのペースは鈍化することが予想されますが、組織及び事業間シナジー促進による既存事業の強化や人材の育成等を推し進めることで、他社との差別化や顧客満足の向上を図り、修正計画の達成とともに、新たな成長ステージへ向かって着実に歩みを進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年11月



代表取締役社長 兼 グループCEO

和納勉

おかげさまで、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました



2014年2月27日の東京証券取引所市場第二部への市場変更から約7か月、9月24日付にて、当社株式が東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、関係者の皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

私たちは、創業から今日までの34年あまり、「関わった人全てをハッピーに」という経営理念のもと、人材・情報ビジネス分野において、地道に、一生懸命、「世のため、人のため」となる企業を目指してまいりました。

その中で得られた事業資産やノウハウ、そして今回の東証一部指定による知名度や信頼性の向上等の効果を活かし、さらなる業容の拡大と企業価値の向上を図り、広く社会に貢献できる企業を目指すとともに、グループビジョンである、「日本の人事部」から「世界の人事部」への実現に向け、より一層の努力を重ねてまいります。

連結子会社が商号を変更

(株)カラフルカンパニー

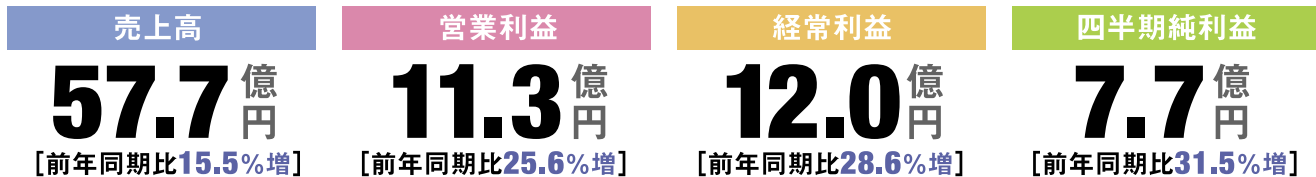
情報出版事業を展開する(株)ケー・シー・シーは、事業を通じ、地元の方々や企業が彩り豊かな生活を送るための架け橋となるよう、個性豊かなスタッフが、多様な事業にチャレンジし、活躍できる会社でありたいという想いの実現に向け、2014年7月7日付で、商号を(株)カラフルカンパニーへ変更しました。

各社でスマートフォン向けサービスを拡充

(株)アイ・キュー / (株)カラフルカンパニー / QUICK USA, INC.

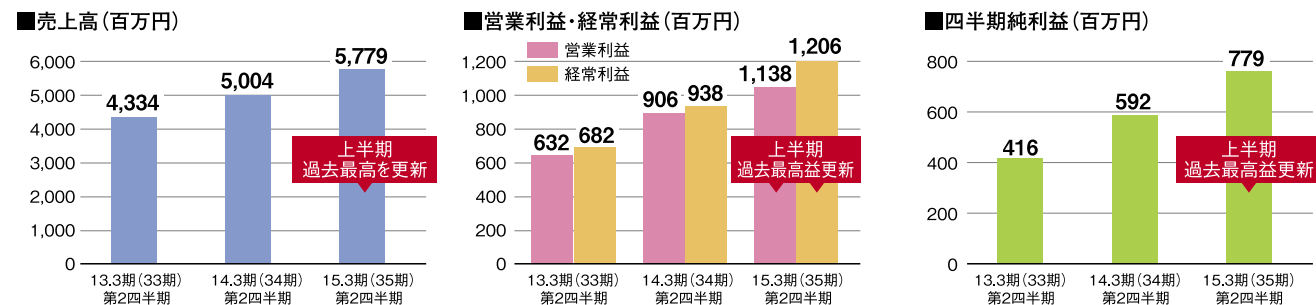
当上半期は、(株)アイ・キューがスマートフォン版「日本の人事部」を開設したほか、QUICK USA, INC. が求人情報発信サイト「ハ・タ・ラク」をオープンしました。また、(株)カラフルカンパニーではスマートフォン向け日本酒検索アプリ「一期一酒 いしかわ」、金沢弁・富山弁LINEスタンプをリリースする等、各社でスマートフォン向けサービスを拡充しました。





**上半期は、売上高・利益面とも過去最高を更新
通期業績も、5期連続の増収増益、
過去最高益更新の見通しへと上方修正!!***

- ◆求人マーケットの活性化を背景に、
全事業セグメントで増収、利益面は人材サービス事業が全体を牽引
- ◆営業利益率19.7% (前年同期比1.6ポイント上昇)、
経常利益率20.9% (同2.1ポイント上昇)と、収益力も順調に向上



※通期業績予想及び期末配当予想の修正内容について

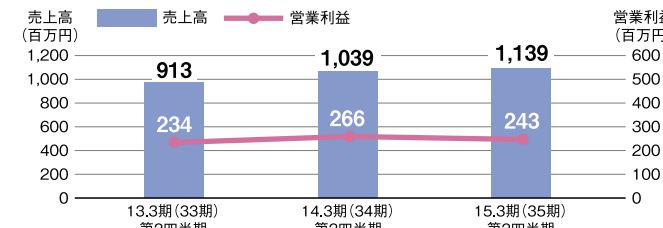
	期首計画	修正予想	増減 (%)
売上高	11,000	11,370	3.4%増
営業利益	1,120	1,347	20.3%増
経常利益	1,170	1,430	22.2%増
当期純利益	750	920	22.7%増

	前回発表 (14.9.1発表)	修正予想	増減
第2四半期末	12.0 ^{※2}	12.0 ^{※2}	—
期末	5.0	8.0	3.0増
年間	17.0	20.0	3.0増

※2 第2四半期末配当金には、東証一部指定記念配当5.0円を含みます

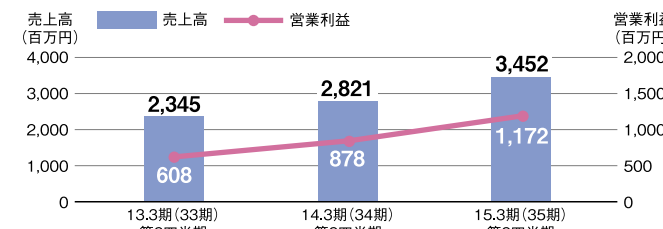
リクルーティング事業 売上高1,139百万円 (前年同四半期比9.6%増) / 営業利益243百万円 (同8.6%減)

サービス職やIT関連職に加え、自動車業界をはじめとする製造業や建設業、派遣会社等の採用ニーズが、引き続き旺盛だったため、中途採用領域全般において求人広告の取り扱いが拡大しました。また、より多くの応募者を確保するため、ネット媒体と紙媒体を併用する企業も増えてきましたが、一方で、広告効果の希薄化を受けて業界内での競争激化が進みました。なお、利益面は、人員増に伴う経費の増加等の影響により伸び悩みました。



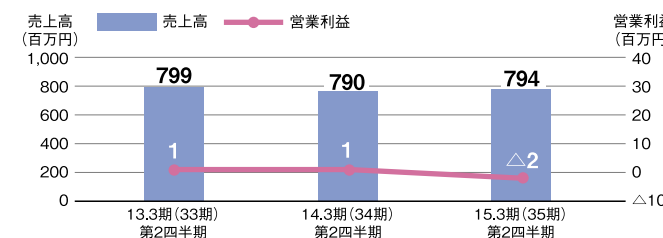
人材サービス事業 売上高3,452百万円 (前年同四半期比22.4%増) / 営業利益1,172百万円 (同33.4%増)

人材紹介は、建築・土木分野や医療分野における旺盛な採用ニーズに加え、製造業等のその他分野における雇用情勢の改善を背景に、効果的なプロモーションや丁寧な登録者対応に取り組んだことで、一般企業を対象とした人材紹介・看護師紹介とも順調に推移しました。アウトソーシング(人材派遣・紹介予定派遣・業務請負)は、東海地域でのOS入れ替えやパソコンセットアップ業務等のIT関連業務や家電製品の保守・メンテナンス業務へのスタッフ派遣が好調だったほか、北陸・新潟の医療・福祉分野等へのスタッフ派遣も堅調に推移しました。



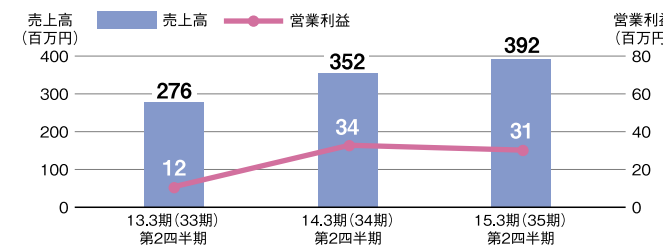
情報出版事業 売上高794百万円 (前年同四半期比0.5%増) / 営業損失2百万円 (前年同四半期は営業利益1百万円)

主力の生活情報誌において、住宅広告の取扱いは引き続き好調でしたが、競合他社の参入等による競争激化に伴い、求人広告や店舗広告等のタウン系広告の取り扱いが苦戦し、全体的な業績は伸び悩みました。その一方で、住宅情報誌「家づくりナビ」や結婚情報誌「結婚賛歌 北陸版」、金沢のまちなかフリーマガジン「Link」等のターゲットを絞った情報誌や、折り込みチラシ配布の業績は順調に推移しました。



その他 売上高392百万円 (前年同四半期比11.4%増) / 営業利益31百万円 (同7.9%減)

ネット関連事業は、人事サービス業界におけるプロモーションニーズの高まりから、人事・労務に関する情報ポータルサイト「日本の人事部」等の広告収入が引き続き伸長し、業績は順調に推移しました。海外事業では、QUICK USA, INC. が、米国国内の景気回復を背景に、ニューヨークオフィスの人材紹介・派遣ともに順調に推移し、業績は拡大しました。一方、上海クイックマイツ有限公司では、人材紹介が堅調だったものの、顧客企業における中国ビジネスの規模縮小等の影響もあり、アドバイザー業務等の人事労務コンサルティングは伸び悩みました。



連結決算概要

連結貸借対照表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)			
	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2014年9月30日)	増減額
【資産の部】			
流動資産	3,863	4,492	628
現金及び預金	2,431	3,159	728
受取手形及び売掛金	1,116	998	△ 118
繰延税金資産	148	142	△ 5
その他	170	192	21
貸倒引当金	△ 2	△ 1	1
固定資産	1,348	1,344	△ 3
有形固定資産	700	655	△ 44
建物及び構築物	366	343	△ 23
工具、器具及び備品	25	22	△ 3
土地	289	276	△ 12
リース資産	17	12	△ 5
無形固定資産	119	141	21
投資その他の資産	529	548	18
投資有価証券	228	248	20
敷金	297	296	△ 0
その他	8	6	△ 1
貸倒引当金	△ 5	△ 3	1
資産合計	5,212	5,836	624

ポイント解説

- 前年度末に比べて短期借入金が48百万円減少し、長期借入金が9百万円減少したことで、借入金の総額は前年度末に比べて58百万円減少して214百万円となりました。
- 主な要因として、売上高の拡大等に伴う未払消費税等の増加124百万円があります。
- 四半期純利益779百万円の計上及び剰余金の配当(△150百万円)によります。これにより、自己資本比率は64.5%となり、前年度末に比べ4.4ポイント上昇しました。

(単位:百万円)			
	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2014年9月30日)	増減額
【負債の部】			
流動負債	1,990	1,968	△ 22
買掛金	231	175	△ 55
短期借入金	241	193	△ 48 ①
1年内返済予定の長期借入金	19	19	— ①
未払金	498	328	△ 169
未払費用	251	261	9
未払法人税等	267	442	175
賞与引当金	274	228	△ 45
役員賞与引当金	25	—	△ 25
返金引当金	17	19	2
その他	163	299	135 ②
固定負債	79	92	13
長期借入金	11	1	△ 9 ①
資産除去債務	29	29	0
その他	38	61	22
負債合計	2,069	2,060	△ 8
【純資産の部】			
株主資本	3,099	3,727	628
資本金	351	351	—
資本剰余金	310	310	—
利益剰余金	2,456	3,084	628 ③
自己株式	△ 18	△ 18	—
その他の包括利益累計額合計	32	39	6
少数株主持分	11	9	△ 1
純資産合計	3,142	3,776	633
負債純資産合計	5,212	5,836	624

連結損益計算書

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)			
	前第2四半期 連結累計期間 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	増減額
売上高	5,004	5,779	775 ④
売上原価	1,896	2,189	293
売上総利益	3,107	3,589	482
販売費及び一般管理費	2,201	2,451	249 ⑤
営業利益	906	1,138	232
営業外収益	35	78	43
営業外費用	3	10	6
経常利益	938	1,206	268
特別利益	—	5	5
特別損失	—	0	0
税金等調整前四半期純利益	938	1,211	273
法人税、住民税及び事業税	328	428	99
法人税等調整額	17	5	△ 12
少数株主損益調整前四半期純利益	592	777	185
少数株主損失(△)	△ 0	△ 1	△ 1
四半期純利益	592	779	186

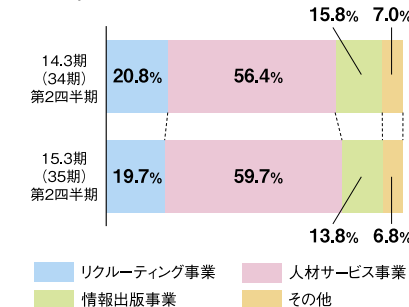
連結キャッシュ・フロー計算書

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)			
	前第2四半期連結累計期間 (2013年4月1日～2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日～2014年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	684	972 ⑥	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 50	△ 20	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 104	△ 219 ⑦	
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△ 4	
現金及び現金同等物の増減額	539	728	
現金及び現金同等物の期首残高	1,832	2,401	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,372	3,129	

ポイント解説

- 報告セグメント別の売上高構成比は、前年同期と比べ、以下の通り、人材サービス事業の割合が高まりました。



- 主な要因として、人員増等に伴う人件費の増加(191百万円)、東京本社増床等に伴う地代家賃の増加(13百万円)があります。

- 法人税等の支払い255百万円等による資金の減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益1,211百万円の計上等により、資金は増加しております。

- 主な要因として、借入金の返済58百万円及び配当金の支払い149百万円があります。